

抗がん剤の血管外漏出時の対処方法 2024.6更新

がん薬物療法に伴う血管外漏出に関する合同ガイドライン 2023年版を参考に作成した。また、外来がん化学療法看護ガイドライン ①抗がん剤の血管外漏出およびデバイス合併症の予防・早期発見・対処 2014年版も一部参考にした。

※血管外漏出の対応に関する明確なエビデンスは確立されていません。
症例ごとに最も適切な対応を、多職種の意見を参考にお考え下さい。

①直ちに注入を中止、②留置針は抜かずに、漏出薬剤を確認

浸潤している薬剤を回収するため、可能であればシリンジで血液を約2~5mL吸引除去

留置針、ルート抜去、漏出部位をマーキング

患肢を拳上安静

注射ラベルの薬品名のマークを確認

★アンスラサイクリン系抗がん剤

- デルモベート®軟膏塗布
- 可能な限り速やか(6時間以内)にサビーン®投与を考慮(添付文書参照)
オーダ方法: レジメン⇒「薬剤部」フォルダ

◆壊死性抗がん剤
▲炎症性抗がん剤

- デルモベート®軟膏塗布

非炎症性抗がん剤

- 経過観察

その他(オプション)

- 皮膚科へ紹介(初期対応は各科)
- 局所の冷却(赤字の薬剤は冷却しない)

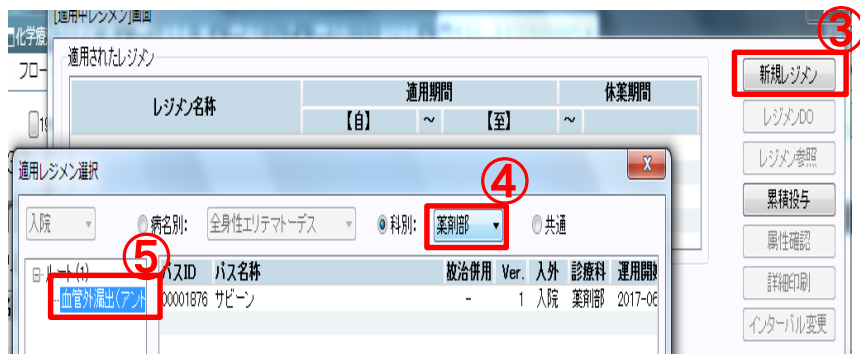
抗がん剤の血管外漏出時組織障害性の分類 (愛媛大学医学部附属病院採用薬品)

★アンスラサイクリン系抗がん剤	▲炎症性抗がん剤 マーカーは壊死性との報告もあるため留意が必要 赤字は冷やしてはいけない薬剤
イダマイシン エビルピシン カルセド ダウノマイシン ドキシルピシン ノバントロン ピキセオス ピルピシ	アクブラ アクラシニン アルケラン イホマイド イリノテカン オコバイド エトボシド エンドキサン エンハーツ カルボプラチン シスプラチン テモダール ドキシル トリセノックス ハイカムチン パドセブ フルオロウラシル ブレオ マイロターグ
◆壊死性抗がん剤 赤字は冷やしてはいけない薬剤	非炎症性抗がん剤 マーカーは炎症性との報告もあるため留意が必要
アブラキサン エクザール オキサリプラチン オンコピン コスメゲン サイメリン ジェブタナ ダカルバジン ドセタキセル トレアキシシ パクリタキセル フィルデシン プスルフェクス ヘンダムスチン マイトマイシン ヨンデルス ロゼウス	アキラルックス アドセトリス アバスチン アービタックス アラノンジイ イジド イストダックス イミフィンジ エポルトラ エムプリシテリ オプジーボ オンキアスパイ カイプロリス ガザイバ カドサイラ キイトルーダ キロサイド ゲムシタビ サイラムザ サークリサ ザルトラップ シタラビン ジフォルタ ダラザレックス テセントリク トラスツズマブBS トーリセル パーージェタ ハーセプチン バベンチオ ハラヴェン ビーリンサイト フルダラ ベクティピックス ベスポンサ ヘパシズマブBS ペメトレキセド ポートラザ ポテリジオ ポラビーム メソトレキセート ヤーボイ ユニツキシシ リサイオ リツキサン リツキシマブBS リブタヨ ロイスタチン
組織障害性分類が不能な薬剤	
ニドラン ビロイ レミトロ	

参考文献

- Mouridsen HT, et al. Treatment of anthracycline extravasation with Savene (dexrazoxane): results from two prospective clinical multicenter studies. Ann Oncol 2007; 18: 546-550.
- UpToDate®, Jan Buter et al. Extravasation injury from chemotherapy and other non-antineoplastic vesicants. (last updated: Jan 04, 2023.)
- Frye R, et al. Romidepsin: a new drug for the treatment of cutaneous T-cell lymphoma. Clin J Oncol Nurs. 2012; 16(2):195-204.
- BC Cancer Extravasation Hazard Table (2023.6.6 参照)
- 抗がん剤の血管外漏出の予防と対応ガイド. キッセイ薬品工業株式会社

サビーン®のレジメンオーダー方法



同意書の取得の方法

